

グリーン復興と生物多様性座談会 in 名取

生きものたちと生きるまち

～みんなで考える、自然の恵みを活かした復興、暮らしと自然の未来像～

震災から1年が経ち、東日本の沿岸各地で暮らしを再生するための取り組みが始まっています。地震、津波という自然の猛威により東日本の太平洋岸は甚大な被害を受けました。一方、「森は海の恋人」と呼ばれてきたように、海の自然は、山、森、川、そして田んぼの営みにもつながっていて、被災した地域の多くはこれら自然の恵みを受けた産業で成り立ち、自然の恵み（生態系サービス）を最大限に活かして生活をしてきました。

この地域の暮らしを取り戻す復興をできる限り早く実現していくことがみんなの願いです。しかし、急ぐあまり、山や森を削り、川や海、海岸、田んぼの自然や生き物への配慮のない造成や工事を進めることは、生き物たちの創る自然の恵みを失わせ、地域でこれまで紡いできた文化や暮らしが取り戻せなくなってしまうばかりか、二次的な災害を招くおそれがあります。

このたびの座談会は、そんな自然の恵みを活かしたグリーン復興の大切さをみんなで共有し、ではどうしたら実現できるのか、どのように取り組んでいけばいいのかを考える機会にしたいと企画しました。

現在、全国の自治体・地域ごとに始まった「生きものたちと生きるまちづくり」のための「生物多様性地域戦略づくり」についても触れながら、地元自治体、農林漁業に携わる人、事業者、さまざまな活動をする市民・市民グループ、研究者、生物多様性保全に取り組むNGOなど、みなさんに集まっていただき、思いを交流させて、地域で生きものと共に生きる暮らしの姿、その未来像を描き、実現に向けて歩んでいきたいと考えています。

一人でも多くのおみなさまのご協力とご支援、ご参加をお願い申し上げます。

2012年5月3日（祝） 13:00～17:00

名取市文化会館 小ホール

■主催 日本自然保護協会 東北大学大学院生態適応グローバル COE
名取エコミュージアム研究会

■後援 名取市 名取市教育委員会 宮城県 環境省東北地方環境事務所
林野庁仙台森林管理署 国土交通省仙台河川国道事務所 自然観察指導員連絡会みやぎ

■協力 EPO 東北

■定員 100名（先着順）

■参加費 無料

参加申込 ※事前に下記のいずれかにお申し込みください。

1. 名取エコミュージアム研究会（担当：大橋） 宮城県名取市大手町 4-18-2 A-103
TEL: 090-7066-6014 Eメール: n-ohashi@swan.ocn.ne.jp
2. 日本自然保護協会（担当：道家） 東京都中央区新川 1-1-16 ミトビル 2F
TEL: 03-3553-4104 Eメール: waytob@nacsj.or.jp
FAX: 03-3553-0139

氏名:

所属:

メールまたは電話番号:

■プログラム（予定）

当日の進行状況により多少変更することがあります

第一部

- 13:00 開会あいさつ 進行：鈴木美紀子（EPO 東北）
来賓あいさつ
- 13:15 基調講演① 東北大学生命科学研究科教授 中静 透
「グリーン復興と生物多様性保全のまちづくり」
- 13:45 基調講演② 日本自然保護協会保全研究部長 朱宮丈晴
「生きものと共存した暮らしのための生物多様性地域戦略づくり」
- 14:05 質疑応答
- 14:20 休憩

第二部

- 14:30 座談会
「グリーン復興、生きものたちと活きるまちづくりにどう取り組むか」
コーディネーター：竹本徳子（東北大学大学院生命科学研究科特任教授）
コメンテーター：中静、朱宮
話題提供：各15分
- ① 丹波雅彦（サッポロビール仙台工場総務部長）
「増田川の環境保全への取り組み」
 - ② 斎藤忠雄（宮城県認定森林インストラクター）
「高館の森の生きものたち」
 - ③ 大橋信彦（名取ハマボウフウの会代表）
「海浜植物と市民活動について」
 - ④ 岡崎美穂子（「名取市自然と地域とのふれあい活動推進委員会」委員）
「ホテルの調査から見えてくるもの」
- 16:35 閉会あいさつ
- 17:00 終了

■ 会場地図 JR名取駅より徒歩17分



この事業は平成24年度独立行政法人環境再生保全機構地球環境基金
の助成を受けて実施しています